

進路だより

〈第3号〉

令和5年6月30日発行

須賀川創英館高等学校進路指導部

求人票公開間近

今年度の求人票公開に伴い、本校にはたくさんの企業の方々が例年来校されます。「須賀川創英館高校の生徒をぜひ採用したい」と思っていたいただきたいものですね。大きな声での挨拶、きまりを守った服装髪型、掃除の徹底された校舎など、良い印象をもっていただく場面は多くあると思います。日頃から心がけておきましょう。また、進路室前の廊下は静かに通るようご協力ください。

今年度の採用傾向 (進路アドバイザー：結城さんより)

7月1日以降に3年生の就職希望生徒への求人票が公開されます。同時に、各企業による学校への求人申込み及び学校訪問が始まります。今の就職活動はかつてないほど厳しい状況ですが、正しいやり方で取り組めば、やった分だけ努力が報われるようになっていきます。就職活動の正しい進め方を知り、実行していけば、必ず満足いく活動ができるはずですよ。

就職活動において自己分析は最重要！

全ての勝負事は状況把握が肝心です。就職先の会社は敵ではありませんが、就活においてどんな会社かを知ることは当然必要になってきます。しかし、会社を知る前に、自分がどんな人間かということを知ることが大切です。就職活動では、自分の考えや強みなどをエントリーシートや面接でわかりやすく相手に伝えなくてはなりません。自己分析をする作業は大変なことではありますが、自己分析がきちんとできていけば就職活動が驚くほどスムーズになっていきます。

◆ 自己分析には4つのメリットがあります。

- ① 自分の価値観がわかる。
- ② 自分の強み・弱みが把握できる。
- ③ 企業選びの基準ができる。
- ④ 就職活動の焦りがなくなる。



進路講演会

6月8日に3年生を対象とした進路講演会が行われました。ライセンスアカデミーの方から、進路選択に関するお話をいただきました。1・2年生も、卒業後の進路を今から考えておくことをお勧めします。

《就職》

○就職とは、仕事に就くこと＝人の役に立ってお金をいただくこと。

○仕事選びは、好き嫌いも大切だが向き不向きの方が重要。どんな仕事に向いているか、何が好きか常々考える。(周囲に聞いておくとうい)

○やりがい(自分が仕事をして感謝されて嬉しいと思うこと)や達成感がなければ続かない。給料だけで決めてはだめ。

《進学》

○可能な限り、オープンキャンパスに行く。HPだけでは情報が浅い。

○専門学校・・・仕事に直結した技能教育。やりたいことがはっきりしていない人は行くべきではない。

同じような学科名でも学べる内容が違う。

立地で決めるのではなく、そこでしか学べない事を調べ決めるべき。

○大学・・・学びたいものを学ぶ・深掘りする。何を学びたいのか、志望のきっかけは何か、大学で何をしたいのか、将来はどんな仕事についてどのように活躍したいか、つなげて答えを1つにすることが大切。



進路ガイダンス実施

6月22日には、進路希望別に分かれての模擬面接指導が行われました。大学や専門学校などから講師の方をお招きし、面接の心構えやアドバイスを聞いたり、実際に模擬面接を受けたりしました。3年生は、一様に緊張した面持ちでしたが、真剣に話を聞く様子が見られました。もちろん、面接練習は何度も行う必要がありますので、ギリギリになって焦らないように、早めに練習計画を立てましょう。

進学情報

大学や専門学校などからパンフレットやオープンキャンパスの案内、学校推薦型選抜や一般選抜などの入試要項が次々と届いています。推薦入試の場合、学科試験の代わりに小論文を課す学校が多く見られます。小論文はその分野について知らない、一般論しか書けず、勝ち抜くことができません。知識が試されているのです。今から自分が専攻したい分野のニュースや話題を調べたり、関係する本を読んだりしておきましょう。中には、小論文のみ事前提出という学校もありますので、入試の情報をよく確認しておくようにしてください。指定校推薦は、出願期間が11月ごろ、試験が11月下旬ごろという学校が多いので、3年生は2学期に入ると出願の準備で慌ただしくなります。落ち着いて本を読んだり調べものをしたりできるのは夏休み中までだと考えてください。また、推薦入試では「志望の理由」を明確に示すことが求められます。目的意識の高さが合否を左右する重要なポイントです。自分の言葉で明確に表現できるように、早めの準備を始めましょう。

新着図書

- 受験のシンデレラ 和田秀樹著
→精神科医であり「受験の神様」と呼ばれる著者による、至高の青春物語。
- 人生を変えた経験 スターツ出版
→アスリートに学ぶ超ポジティブシンキング。
- マンガでわかる高校一冊目の参考書 船登惟希著
→大学受験合格の秘訣は参考書中心主義。知りたいことがぜんぶマンガでわかる14日間の物語。
- 何を準備すればいいかわからない人のための 総合型学校推薦型選抜のオキテ 鈴木鋭智著
→自信をもって自分をアピールするための55のオキテがこの一冊に。
- 3か月で英検準1級をとる！ 相佐優斗著
→とにかく「見たことがある」回数を増やすこと。重要なのは毎日欠かさずやること。

傾向と対策

大学入試を例にとってみると、学校別の過去問題集、いわゆる「赤本」と呼ばれる問題集があります。赤本を最初のページからめくっていき、「傾向と対策」という解説のページが添えられています。そこには、「この大学はこういうことに興味があるので、それに対応した準備が必要です」ときちんと書いてあるのです。ところが、高校生の多くはそのページをなぜか素通りしてしまいます。過去問の1問目からすぐに解こうとするのです。 実はあの解説にこそ、試験を突破するための重要な手がかりが記されています。なぜかという、予備校の英語主任のような立場にある先生が、過去問を20年くらい研究した上で、解説を書いているからです。だから問題の傾向を外しようがないのです。まさに試験官が要求しているポイントを、受験のプロの先生が書いてくれているのですから、ここを読まない手はありません。

最初からむやみやたらに問題に取りかからない。これは試験勉強の際の鉄則です。まず、自分がどういう位置にいて、何を要求されているのかを冷静に考えること。

(鎌田浩毅『一生モノの勉強法』ちくま文庫)

進路希望調査

本校の進路希望調査の集計結果です。進学希望の人が多いことがわかります。

	大学	短大	専門学校	就職	未定
1年	49人	18人	40人	30人	39人
2年	59人	12人	53人	38人	22人
3年	51人	16人	71人	51人	0人

(4月実施 3年は6月末の数)

夢は逃げない
逃げ癖は
いつも
自分だ!